

第3回 国際理解教育勉強会

1月25日(土)にJICA北陸で、国際理解教育を北陸地域に広めていく勉強会を開催しました。今回は今までと違い、それぞれのセッションで沢山グループディスカッションを行いました。やり方に正解のない「教育」について、沢山価値観・考えを交流し、そして一気に深め、グループでまとめていきました。かなり活発に意見交換が行われたこともあり、短時間でしたが、得るものが多い会となりました。

国際的な要素を持った学習をもっと学校で実践していきたい!もっと学んで考えたい!と思っている方々が本勉強会には参加されていますが、先生だけでなく大学生など興味のある方ならどなたでも参加して頂けます。高い意識と強い意欲を持った方たちがつながり、切磋琢磨していける場になりますので、国際理解のセミナーや授業をやってみたい!学んでみたい!と思っている方は次回以降ぜひご参加ください!

今回のテーマ

1. 海外研修を通じたグローバル人材育成 (講師:北陸大学 教授)
2. モンゴルに行った経験を授業(環境教育)にして学校で実践! (講師:石川県立いしかわ特別支援学校 教諭)
3. もし制約がなかったら、どんな教育をしてみたい? (ディスカッションのみ 講師:白山市立蝶屋小学校 教諭)
4. アメリカの小学校教育と日本の小学校教育 比較してみました (講師:金沢学院大学 講師)



北陸から国際協力を発信!

News Letter Spring
2020 春号

JICA北陸's World

草の根技術協力事業

ベトナム

枯葉剤・ダイオキシン濃厚汚染地区における低体重児の発育改善プロジェクト

このプロジェクトは、ベトナム戦争時に枯葉剤によって汚染された濃厚汚染地区の一つビンディン省フーカット県において、戦後40年以上経過した現在も枯葉剤に含まれていたダイオキシン類の影響下にある低体重児の発育改善を支援するため、金沢大学の城戸照彦客員教授(プロジェクトマネージャー)を中心に、現地の医療関係者等の人材育成を行うものです。2019年8月に開始された同プロジェクトは、直ちに関係者(金沢大学、フーカット県立医療センター、ハノイ医科大学、ベトナム国家大学など)がハノイで一堂に会し連携体制を確立し、9月、12月に現地研修、10月には本邦での研修を行いました。



金沢大学での記者会見の様子




検診風景



講義の様子



SDGsへ取組む各事業を紹介

今回は  の目標に取り組んでいる2つの案件



新年度のごあいさつ

今年は、オリンピック・パラリンピックの年。世界中から多くの方が日本にお越しになります。この機会に、全世界で200にもわたる国・地域の方々と一緒に多くなつたりませんか。JICA北陸は今年も北陸と世界を「チュー」なぐための役割を果たしてまいります。



北陸センター (JICA北陸)
所長 菊地 和彦



今年も北陸と世界をつなぎます
ONE TEAM! JICA北陸

研修員受入事業 石川県立看護大学

- 日系社会研修(パラグアイ)
高齢者福祉におけるケアシステムと人材育成コース
- 青年研修(カンボジア)
地域保健医療実施管理コース

南米では、日系移住者の高齢化が進み、日本人会の高齢者福祉ボランティアがデイサービス等の取り組みを継続して実施し、高齢者福祉の大きな役割を担っています。日系社会研修では高齢者福祉制度やケアシステムなどを講義で学びつつ、羽咋市で社会福祉施設など多様な機関を視察します。13年にわたる研修員への支援・交流を通じ、パラグアイで日系社会の高齢者の介護予防に更に協力したいという思いを抱いた石川県立看護大学は草の根技術協力事業に応募し、2019年に実施が決定しました。また2012年から将来を担う若者を対象とした青年研修も受け入れていただき、今年度はカンボジアを対象として実施しました。研修員は日本の医療制度や実際の現場での活動の視察を通して自国の課題解決に向けて知識を深める機会を得ました。



青年研修(カンボジア)
地域保健医療実施管理コース
視察風景



日系研修(パラグアイ)
高齢者福祉におけるケアシステムと
人材育成コース 視察風景



独立行政法人 国際協力機構 北陸センター(JICA北陸)

〒920-0853 石川県金沢市本町1-5-2 リファール(オフィス棟)4階
TEL 076-233-5931 FAX 076-233-5959
JICA北陸ウェブサイト <http://www.jica.go.jp/hokuriku/>

Find us on 

JICA北陸



こちらからアクセスしてね!



「SATOYAMA」が合言葉

能登と繋がるフィリピン・イフガオへ



草の根技術協力事業 イフガオGIAHS支援協議会
「世界農業遺産(GIAHS)“イフガオの棚田”と“能登の里山里海”の持続的発展のための地域連携構築事業」

能登の里山里海と同じく、世界農業遺産(GIAHS)に認定されているイフガオの棚田。ここでも「SATOYAMA」という言葉が使われているのをご存知ですか?能登では里山里海マスターが地域で活動していますが、ここイフガオでも100名を超えるマスター養成プログラムの修了生が活躍中です。棚田の保全や農業の他、伝統的な織物技術、修了生ネットワークNGOの設立準備、教職員向け先住民教育教本作成など、故郷の宝物を次の世代にも受け継ぎたいというイフガオの皆さんの熱い気持ちを感じました。見どころがいっぱいのイフガオをぜひ訪れてください。



里山マスター養成プログラムの研修生が研究課題を発表



NGO設立準備中の修了生と、織物と教本作成に取り組む修了生
里山マスター養成プログラムの中心、国立イフガオ大学のGIAHSセンター



イフガオの地形、先住民の踊り、農業や伝統的な木彫に関する教本

詳しい案件内容は
こちら

案件概要
JICA HP

能登の里山里海
情報ポータル

JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト2019 入賞者発表!!

たくさんのご応募ありがとうございました!!

テーマ よりよい世界の未来を目指して～私たちから始まる一歩～

JICAは開発途上国の現状や日本との関係について中学生・高校生の理解を深めることを目的に、毎年エッセイコンテストを開催しています。今年は中学生の部2万7320点、高校生の部2万8141点、総数5万5千点(内北陸3県:中学生の部702点・高校生の部968点・計1670点)の応募を頂きました。その中でも北陸3県の学校に通う10名の生徒の皆さんが入賞されましたのでご紹介させていただきます。

中学生の部全国で4位の快挙! 優秀賞受賞

副賞は海外研修!



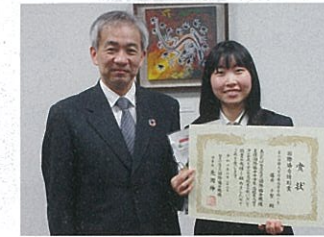
福井県越前市立南越中学校
高島 凜花 さん(写真中)
作品名「力になりたい」

生徒会活動の一環で『募金活動』を行い「遠く離れた国であっても間接的に誰かを助けられると実感した」と話してくれました。
今後も研修の様子をJICA北陸Facebookでレポートして頂く予定です!高島さんの活躍をご期待ください。



高島さんの作品はこちらからお読みいただけます

高校生の部全国でトップ20人の快挙! 国際協力特別賞受賞



富山国際大学付属高校
藤井 千聖 さん(写真右)
作品名「ボランティアの心」

表彰式の際に藤井さんは「これからは、エッセイに書いたように『共に歩む』の精神をもとにボランティア活動をしたい。」と話してくれました。

本エッセイコンテストについて

JICA エッセイ



藤井さんの作品はこちらからお読みいただけます

JICA北陸センター所長賞受賞者へ菊地所長が訪問表彰を行いました



富山県 黒部市立鷹施中学校
中野 舞 さん



石川県立金沢泉丘高等学校
多田 結月 さん



石川県 かほく市立高松中学校
一花 颯志 さん



福井県立高志高等学校
奥島 由樹子 さん

富山県立大門高等学校、富山県立伏木高等学校が特別学校賞を受賞!!

学校賞は60作品以上の応募、または全校生徒の3割以上の応募があった学校へ贈られます。学校賞を長年に渡り連続して受賞し、多数の応募をして来ていただいた学校に特別学校賞は贈られます。今年度は北陸からは学校賞が6校、特別学校賞は富山県の2校が受賞しました。

2019年度 北陸受賞 一覧

部	県	学校	学年	受賞者	賞名
中学生の部	福井県	越前市立南越中学校	3年生	高島 凜花	優秀賞
	富山県	黒部市立鷹施中学校	1年生	中野 舞	北陸センター所長賞
	石川県	かほく市立高松中学校	3年生	一花 颯志	北陸センター所長賞
高校生の部	富山県	高岡市立戸出中学校	1年生	山崎 友莉	佳作
	富山県	富山国際大学付属高等学校	3年生	藤井 千聖	国際協力特別賞
	富山県	富山県立大門高等学校	1年生	山崎 彩華	北陸センター所長賞
	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	2年生	多田 結月	北陸センター所長賞
	福井県	福井県立高志高等学校	1年生	奥島 由樹子	北陸センター所長賞
	富山県	富山県立高岡高等学校	2年生	窪田 桃香	佳作
富山県	富山国際大学付属高等学校	3年生	横山 百愛	佳作	

特別学校賞 受賞校: 富山県立大門高等学校、富山県立伏木高等学校
学校賞 受賞校: 富山国際大学付属高等学校、高岡第一高等学校、
独立行政法人国立高等専門学校機構福井工業高等専門学校、射水市立小杉中学校、
かほく市立高松中学校、福井市安居中学校

本コンテストを活用した授業実践事例を地球ひろばホームページに掲載していますのでご覧ください。

「持続可能な開発目標(SDGs)を学べる教材」も提供しています。

<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/index.html>



SDGs ビジネスセミナー

SDGs ビジネスセミナー in 福井



山田技研様の事例発表の様子

JICA北陸は、1月30日に福井市で実施した福井県中小企業診断士協会主催の「SDGsビジネスセミナー」を共催し、JICAの「中小企業・SDGsビジネス支援事業」を紹介いたしました。セミナー当日は、福井県内の企業の方々をはじめ80名が参加され、福井県内企業によるSDGsビジネスの取り組みを学ばれました。JICA事業の実施事例発表では、モンゴルで冬季道路管理技術の導入のための基礎調査を実施している山田技研株式会社(福井市)様に、スリップ事故の減災と渋滞緩和を目指す取り組みを紹介いただきました。

主催:(一社)福井県中小企業診断士協会 共催:JICA北陸、(株)福井銀行
後援:(公財)ふくい産業支援センター、福井商工会議所、(株)福井新聞社、JETRO福井

行け! 鷹の爪団のODAマン

行け! 鷹の爪団のODAマン 出張授業 in 富山



ODAマン

2月15日(土)に「行け! 鷹の爪団のODAマン 出張授業in 富山」がTOYAMAキラリにて開催されました。当日は約120名の方が来場され、ODA(政府開発援助)事業について楽しく学ばれました。トークイベントには、当センターの所長もパネリストとして参加し、県内の皆さんのODAに関する取り組み(JICA海外協力隊・草の根技術協力事業等)を紹介致しました。最後はみんなでODAポーズをして、盛り上がりましたよ~!

主催:外務省
共催:富山市、チューリップテレビ
協力:JICA北陸、水機工業、富山大学

2020年度のエッセイコンテスト募集テーマ決定

世界とつながる自分 - 私たちが考えること、できること -

オリンピックイヤーと一緒に世界について考えてみませんか?

本コンテストは夏休みの課題としてご提出いただく他、かほく市立高松中学校では世界史の授業の中に本コンテストを取り入れていただくなど、授業の一環で取り組まれている学校もあります。

募集期間

6月7日~
9月11日

各位

JICA 北陸 広報誌『JICA 北陸's World』送付のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当機構の事業にご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、JICA 北陸では年 4 回、広報誌『JICA 北陸's World』を発行し、当センターが取り組んでいる国際協力活動やイベント情報をご紹介します。この度、2020 春号が発行されましたので、送付いたします。ご高覧の上、ご意見やお気づきの点がございましたら、下記担当までご連絡ください。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

独立行政法人国際協力機構 北陸センター(JICA 北陸)
〒920-0853 金沢市本町 1-5-2 リファール (オフィス棟) 4 階
TEL : 076-233-5931 / FAX : 076-233-5959
E-mail : jicahric@jica.go.jp